

九州のなかま

2008 - 22

春闘情報: NO. 11

発行日 : 2009年5月26日(火)

発行者 : 生協労連 九州地連

全国のパート・派遣など非正規で働くなかまが京都に集う!

“私達の運動で明日をつかもう～「雇用破壊と貧困」の打開をめざして”

5月23日(土)～24日(日)、「パート・派遣など非正規で働くなかまの全国交流集会」が京都で開催されました。全国から500人(九州地連からは8人、熊本県労連、沖縄県労連からも参加)のパート、派遣、外国人のなかまが参加し、2日間にわたって全国のなかまの運動から学び、交流を深め、激励し合いました。今年の集会は、昨年7月、非正規雇用労働者全国センターが発足して初めて開催される全国集会です。この間パート・臨時のなかま達が培い、発展させてきた運動に更なる運動の発展を確信させる集会となりました。

●1日目 シンポジウム「私達の運動で明日をつかもう」

コーディネーターの井筒百子さん(非正規センター事務局長)より、この間の取り組みの報告があり、続いて二宮厚美教授(神戸大学発達科学部人間環境科環境論コース教授)が「雇用破壊と貧困の打開をめざして」と題しての講演がありました。「今起こっている雇用問題、格差貧困問題では社会の弱者、雇用弱者いわゆる非正規へ目を向ける。労働組合運動の基本は雇用を守ること。雇用を守れない労働組合は他の課題(賃金、労働条件)も取り組めない。雇用問題と社会制度の改悪は結びついている。社会制度の改悪と闘う。雇用は生活の基礎である、雇用は労組の生命線である。」と述べられました。



講演する二宮教授



会場からは、キャノンで働いていた派遣労働者、外国人研修生の闘いの報告、官製ワーキングプアの自治体非常勤職員、京都生協パート労組「差別をなくす取り組み」等、8人のなかまからとりくみや活動に関する発言がありました。

集会アピールを採択した後、プラカードや横断幕を掲げて会場から市役所前までにぎやかに華やかに楽しくパレードをしました。九州地連はお揃いのカエルのコスチュームで、「非正規切りはあきまへん!」、「麻生首相は早うやめてんか!」などシュプレヒコールに沿道の京都市民や観光の外国人が手を振って応えてくれました。

●2日目は1つの講座と6つの分科会に分かれて各地の実践交流がおこなわれました。

私達は、人間らしい生活と仕事ができる社会をめざして自分達の権利を学び、なかまたちで共感を広げ連帯することで運動を前進させてきました。職場や地域でしなやかに運動を積み重ね、パート・臨時・派遣で働くなかまとの共同の輪を大きく広げていきます。来年結成20周年を迎える全労連の目標である輝く未来に向けて、なかまを増やし、団結を一層固め、奮闘しましょう!!

お願い: 2009年春闘関連の取組み 他の情報を地連まで FAX: 092-947-9193